

イトーキ、第4回日経統合報告書アワードにおいて「準グランプリ」を受賞

当社は、このたび、「日経統合報告書アワード 2024」において「準グランプリ」を受賞いたしましたので、お知らせいたします。

「日経統合報告書アワード」は、日本経済新聞社の主催により、統合報告書の充実と普及を目的に 2021 年から実施されているアワードです。4 回目となる今回は、過去最多となる 496 社・団体が参加し、金融機関のファンドマネジャー、アナリスト、学識経験者などによる審査を経て、総合グランプリ 3 社、グランプリ E 賞 1 社、グランプリ S 賞 2 社、グランプリ G 賞 1 社、準グランプリ 6 社、新人賞 1 社、優秀賞 46 社が選出されました。

『イトーキ統合報告書 2024』では、創業当時から受け継がれる DNA を「Tech×Design based on PEOPLE」と再定義し、中期経営計画「RISE TO GROWTH 2026」の実現に向けた各戦略および基盤となる人的資本経営について多様な観点から報告しています。また、中期経営計画の策定に合わせて、マテリアリティの重点テーマをブラッシュアップしました。財務・非財務の両面における取り組み内容についての情報を拡充したほか、“人”にフォーカスした 3 つの特集および人的資本をテーマとした座談会のページを新たに設け、当社の独自性のある価値創造に挑戦する姿勢を表明しております。

今回の受賞において、審査員より「社長の力強いメッセージでは自社の弱みにも触れており、市場の問いに答えている。報告書全体がポジティブな印象を与え、企業理念に基づいた価値創造への熱意が伝わる。特に人的資本に関する記述が具体的で素晴らしい。成果や目標の定量化への試みも実効性が期待できる」と評価をいただきました。

また、当社は、事業会社、財務アナリスト、投資家、さらに官公庁や大学等の研究者から構成されている WICI ジャパン統合レポート・アワード 2024 においても、Special Award（審査員特別賞）を受賞するとともに、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）の国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」にも初選出されました。

当社は、今後も統合報告書の一層の改善に努め、投資家を中心としたステークホルダーの皆様には有益な財務・非財務情報を発信してまいります。

■イトーキ統合報告書 2024

U R L : https://www.itoki.jp/company/ir/accounts/anual/assets/pdf/accounts_anual_2024_00.pdf

※『ESG DATA BOOK 2024』

U R L : <https://www.itoki.jp/company/sustainability/assets/pdf/esgdata2024.pdf>

お問い合わせ先

コーポレートコミュニケーション統括部 IR・SR 部 木場

TEL : 03-6910-3910 MAIL : itk-ir@itoki.jp

以上